学校だより11月号



寺尾小だより



<学校教育目標>「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」 <11月の生活目標>「進んで体をきたえよう」 川越市寺尾979-2 TEL 049-245-9555 FAX 049-240-1765

川越市立寺尾小学校 令和4年10月31日(月)

「○○の秋」~自分で計画・実行・反省・計画~

校長 長澤 誠

各地から紅葉のたよりが聞かれるようになりました。校庭の桜の木も葉を落とし、いよいよ秋が深まってきていることを感じさせてくれています。秋は過ごしやすい気候で、何事にも集中して取り組むことができることから、「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと呼ばれます。また、穀物や果物の収穫期にあたり、「食欲の秋」「実りの秋」ともいわれます。10月は、寺尾フェスティバルにPTAの方々が参加してくださりました。また、6年生は、修学旅行を「実り多き行事」とすることができました。11月は、校内音楽会、市内音楽会、授業参観、12月には、持久走大会など保護者の皆様に参観していただく機会が続きます。子供達も様々な準備をしてその日を迎えます。「実りの秋」にするため、教職員も工夫をして取り組んでまいります。

さて、何事にも集中して取り組むことができるこの時期。「実りの秋にするために、何をどうやって過ごすのか」がポイントになります。「本をたくさん読んで読書の秋にする」「運動をがんばってスポーツの秋にする」「たくさん食べて食欲の秋にする」「勉強をがんばって学習の秋にする」など、まずは、この秋をどのように過ごすのか考え、目標を持つことが大切です。その際、お家の人と相談しても良いのですが、できれば、~自分で計画・実行・反省・次の計画~の流れができるようにしたいものです。『目標へ向かい、実現のための計画を立て、計画に沿って実行し、その成果を検証し、反

省点を次へ生かす』という流れは、普段の学校生活の中でも取り入れていますが、教師が主導している面も実は多くあります。もちろん教師が主導することも大切なのですが、『この秋の過ごし方を自分自身で決めて実行する体験』を、ぜひ積ませたいと思います。学校生活だけでは味わえない"何か"を感じてほしいと願っています。ご家庭での声掛けをお願いします。

話は変わりますが、本校では、10/29~11/7の10日間を「親子ふれあい読書週間」に設定し、読書を通して親子のコミュニケーションを深めていただく取組をしています。寺尾小の子供達は、読書が好きな子が多く、「読書マラソンカード」がゴールすると「校長先生、ゴールしました。見てください!」と校長室を訪れる子がとても多いです。右の「よむよむ校章」の写真は、読書マラソンカードがゴールすると、その学年帽子のカラーのシールを貼り、校章を形作ったものです。また、"ホットケーキ"の皆様による「読み聞かせ」も定期的に実施しています。

「読書によって得られるのは知識だけではない。本質をつかむ感性や感覚が磨かれることで、そこに書かれていないこと『いわゆる行間』が読めるようになる」といわれています。「〇〇の秋」の取組も自己決定の場を増やすことにつながります。保護者・地域の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

